

地球の形と地図

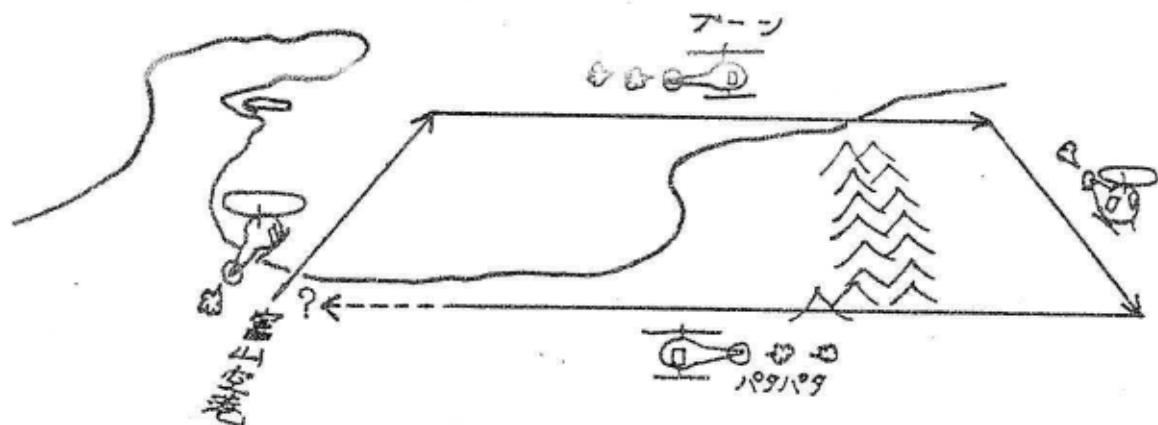
富山空港を離陸したヘリコプターが、北に向かって100KM飛びました。次に向きを変えて東に向かって100KM飛び、さらに南に向かって100KM飛び、最後に西に向かって100KM飛び着陸しました。ヘリコプターは、富山空港に戻ってこれたのでしょうか？

この問題は、地図の上で考えずに「地球儀」を頭に描けばすぐわかります。

北半球では、「真北」に向かって進めば子午線は、お互いに近づいています。「北に向かって100KM飛ぶ」ということは、「子午線沿い」に進むことになります。

もうこの問題の答は、わかったことでしょうか。そうです。富山空港のチョット東側に着陸してしまったことになるわけです。

「地球が丸い」ということは、私たちが使う地図（五万分の一地形図）の中にも表れています。



みなさんは、国土地理院発行の「五万分の一地形図」を見たことがあるでしょう。それらは、どんな形をしていましたか？「五万分の一地形図・富山」を見てみましょう。「五万分の一地形図・富山」は、東経137°と137°15′ 北緯36°40′と36°50′で囲まれた地域を表しています。

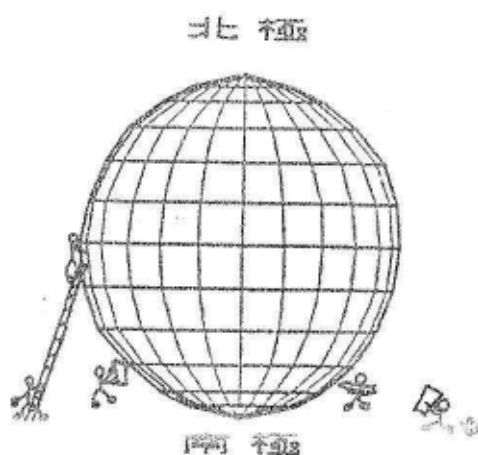
この地図の縦の辺は左右とも36.99CM、横の辺は上が44.60CM、下が44.70CMで、正確には下の辺がちょっと長い「台形」です。

それでは、このような「台形」の地形図を次つぎに貼りあわせていくとどうなるでしょう？

そうです！「五万分の一の地球」ができあがるという訳です。それは、何と直径約255M のまだ誰も作ったことのない大地球儀になります。

私たちが何げなく使っている一枚の地図。その中にも地球全体の形が反映されています。

みなさんもいろんな地図を拡げてみませんか。きっと新しい発見があると思いますよ。



(H・A)



富山市科学文化センター

富山市西中野町3丁目1番19号 (〒939)

電話 富山(0764) 91-2123(代表)

昭和61年4月/日 発行